

貧困研究会 研究部会

国際共同研究シンポジウム

日中韓における貧困と社会政策

○●貧困研究会について●○

「貧困研究会」は、さまざまな領域における貧困に関する調査・研究を行ない、その成果を公開するとともに、国内外の研究者相互の交流と協力の促進を行なう事を目的として設立された領域横断的な研究会です。

代 表 布川 日佐史 (法政大学)

副代表 五石 敬路 (大阪市立大学)

所得格差や貧困の拡大は、日本だけでなく、東アジア各国で見られる深刻な社会問題として認識されています。生活困窮者自立支援法の制定など日本でも制度改革が徐々に実行されているところですが、韓国では昨年公的扶助（生活保護）の抜本的な改革が行われ、中国でも2014年に新たな社会扶助制度が施行されました。本シンポジウムでは、各国における第一線の研究者に現状を報告いただき、東アジア独自の社会政策のありかたをさぐります。基調講演では、上海における農民工の生活実態調査で知られる陳映芳氏にご報告をお願いします。

13時半～13時40分 開会の挨拶

13時40分～14時10分 基調講演 陳映芳氏（上海交通大学）

14時10分～15時10分 各国の概況 ノ・デミョン氏（韓国保健社会研究院）
李振剛氏（中国社会科学院）
布川日佐史氏（法政大学）

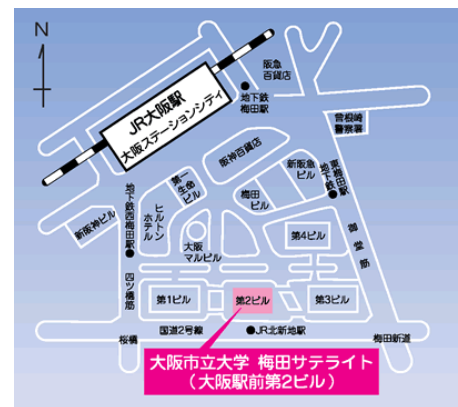
15時20分～16時40分 各論 王昌氏（中国社会科学院）
張文博氏（中国社会科学院）
リ・ヒョンジュ氏（韓国保健社会研究院）
リュ・ジョンヒ氏（韓国保健社会研究院）

16時40分～17時15分 コメント 下村幸仁氏（山梨県立大学）
ディスカッション

日時：2016年6月4日(土) 13時半～17時15分

会場：大阪市立大学梅田サテライト（大阪駅前第2ビル6F）文化交流センターホール

参加費 無料



※ 本シンポジウムは、日韓文化交流センター、および大阪市立大学都市研究プラザの先端的都市研究拠点共同利用事業の助成を受け実施するものです。

※ 当日は、逐次通訳がつきます。

※ 参加ご希望の方は、お名前をご記入のうえ、下記のアドレスにご連絡ください。

hinkonka@hotmail.co.jp